

札幌大谷中学校・高等学校

2024 年度外部点検・外部評価

2025 年 4 月 24 日

2024 年度の学校方針に基づく教育活動・運営の年間反省（自己評価）の点検・評価

をいただき、次年度に向けての教育現場の改善を図るものである。

札幌大谷学園 監事

氏名 花輪 啓一 

I 学校の建学の精神・校訓・教育目標

体育祭や学園祭等においては、生徒の自主的・主体的な取り組みを奨励し、さらに校訓・建学の精神はすべての教育活動の中で、十分浸透し、その成果を確認したことは評価される。

II 中高グランドデザイン

それぞれの部署が、グランドデザインを具現化する方針を立て、実践してきたことは評価されるが、各部署がそれぞれどのようにグランドデザインを具現化について実践したか具体的な内容についての評価が望まれる。

III 学習指導

少子化の時代の中で私学経営が厳しい状況下において生き残るために、教員個々人の教科指導に対する意識の向上、改革と研鑽を積むことが必要であることを次年度の目標として全校上げて改善に取り込もうとする姿勢は大いに評価される。今後に期待したい。

中学 Eminence プログラムを質・数ともに充実させることが学校として最重要な課題であると認識され、将来、同学園の高校に進学されることを見越した取り組みを各部署で検討し、実現可能な学習指導内容の策定が望まれる。

IV 生徒指導「時を守り、場を清め、礼を正す」

生徒指導の「挨拶の励行」「清掃の充実」「時間の厳守」の項目の自己評価は「十分できた」と評価していることは評価されるが、4項目の「規範・規程遵守の徹底」はBの「大体できた」自己評価については、どうしてAの「十分できた」に自己評価できなかったか、その原因が何なのかを中学・高校全体の生徒指導の在り方を所管する会議等で審議し次年度には達成するよう望まれる。

v その他

次年度に向けての目標として10項目を掲げている。項目1番目の「以前から行われてきた

こと、また慣習として行われてきたことなど、すべての学校業務を根本から見直し、自分たちでしっかり考え、新しい教育活動を展開する」ことや「校務運営組織の改善を図り、組織の効率化・業務の見直しをする」ことに、しっかりと取り組んでいただきたい。また、4番目に掲げている「生徒募集・広報戦略の強化を図る」については、重要課題として如何にして生徒を確保するか広報戦略として重要であり、それを達成するためには中学・高校全体でどう組織的に強化するか、精緻な戦略、議論が欠かせないを考える。これは安定した生徒確保と定員充足のための課題であることを認識し取組まれることを強く望む。

以上